

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 本市における熱中症対策の取組について</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>本年は4月にもかかわらず最高気温が25度以上の夏日や30度以上の真夏日が続出し、熱中症で救急搬送される人がでた。熱中症の発生は7～8月がピークだが、春から熱中症に注意しなければならぬ。春の時期、急に気温が上がると体温調節がうまくいかず、熱中症のリスクが高まる。消防庁によると昨年は5月でも全国で2799人が熱中症で救急搬送されている。対策として暑さになれる「暑熱順化」が重要といわれる。意識して汗をかく機会を増やすことで、発汗しやすくなり、皮膚の血流も増え体温の調節力もアップする。</p>	<p>(1) 熱中症(疑いを含む)による救急搬送の状況について</p> <p>(2) 熱中症対策の周知等の取組について</p>	<p>① 本市の熱中症救急搬送者数の状況(対象月は5月から9月)については、令和4年82人、令和5年86人、令和6年99人、令和7年7月31日現在54人、となっている。増加傾向にあると考えるが、どのように分析し周知等対策を講じているのか伺う。</p> <p>② 年齢別の搬送者数は、高齢者、成人、少年、乳幼児の順となっているが、どのように分析しているのか伺う。</p> <p>③ 発生場所においては、住居、道路、公衆(屋内外)の件数が目立つが、どのように分析しているのか伺う。</p> <p>④ 特に7月、8月に搬送は多いが、冒頭述べたように4月でも気温の高い日は続出している。4月の早い時期から対策が必要と考えるがいかがか。</p> <p>⑤ 一方、教育機関での熱中症救急搬送者数は、減少傾向にあり、特に昨年は0人となっている。熱中症警戒アラート、熱中症特別警戒アラートによる対応の効果と理解してよいのか、どのように分析しているのか伺う。</p> <p>⑥ これまで救急体制に支障をきたすようなことはなかったのか伺う。</p> <p>① 熱中症警戒アラート・熱中症特別警戒アラートの本市の発表状況について伺う。</p> <p>② 熱中症の具体的な予防対策(水分補給、体を冷やすこと、過度な節電を行わず必要に応じて冷房器具を使用することなど)について、広報を強化し意識啓発をすることが必要と考えるが、どのように取り組んでいるのか伺う。</p> <p>③ 一人暮らしの高齢者などの要援護者に対して、「声かけ、見守り」の実施などの取組が必要と考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>暑さの感じ方は人によって異なる。そこで活用してほしいのが、気象庁と環境省が本年4月23日に運用を始めた「熱中症警戒アラート」だ。熱中症のリスクが高まった際に注意を呼び掛けるもので、環境省の「熱中症予防情報サイト」などで確認できる。また、警戒アラートより一段上の「熱中症特別警戒アラート」も同日から運用が始まった。発表時には、公共施設など、市町村が「クーリングシェルター」に指定したエアコンが効いた施設が解放されるほか、学校行事などの主催者は中止や延期の検討が求められる。熱中症は重症化すると命に関わるが、適切な対策を講じれば防ぐことができる。そこで本市における熱中症対策の取組について伺う。</p>	<p>(3) 小中学校の熱中症対策について</p>	<p>④ 訪問による注意喚起、イベント等での注意喚起、熱中症対策の物品配布などの取組が必要と考えるが、現状と今後の取組について伺う。</p> <p>⑤ 暑さをしのぐために誰でも避難ができる冷房設備が整った施設「クーリングシェルター」については、随時募集し、民間施設も含め増加しているが、その利用状況について伺う。</p> <p>⑥ 公共施設におけるウォータークーラー、ウォーターサーバーの設置状況について伺う。</p> <p>① 学校の暑さ対策として、グリーンカーテンやミストシャワーの設置など、教育環境の改善に努めることが重要と考えるが見解を伺う。</p> <p>② 持参した水筒での水分補給を学校の休み時間などで行っていると思うが、ウォーターサーバー等の設置についての見解を伺う。</p> <p>③ ウォーターサーバーの設置については、子どもによって飲む量が違うため学校で給水できる環境は重要と考える。また、飲み水が汲めることで大容量の水筒を持たずに、登下校できるようになり熱中症予防の効果が期待できると考えるがどうか。</p> <p>④ 全国の公立小中学校体育館への空調(エアコン)設置率は2017年4月時点で、わずか1.2%である。自治体が体育館の空調整備費に活用できる「緊急防災・減災事業債」の支援を充実させた結果、2024年9月時点で18.9%に上昇した。費用の2分の1を国が支援する「空調設備整備臨時特例交付金」が新設され、今後本市も、小中学校の体育館に空調の整備が進んでいくと思うが、どのような計画、スケジュールで整備していくのか伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25 番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 市体育館への空調 (エアコン) 整備について	<p>⑤ 名古屋市は現在、2028年度までの完了を目指し市立小学校 (全260校) 体育館へのエアコン設置を進めている。中学校体育館 (全111校) へは設置済みである。災害発生時に都市ガスや電気の供給が止まったとしても、LPガスがあれば自力で運転できるとして、ハイブリッド式 (都市ガスとLPガスの併用型) のエアコン設置を進めているが、ハイブリッド式についての本市の見解を伺う。</p> <p>① 市体育館における熱中症対策について、現状と課題、今後の取組について伺う。</p> <p>② 昨年の9月定例会において全会一致で採択された「瀬戸市体育館へのエアコン設置を求める請願」についての市長の処理経過及び結果 (回答) は、「市内体育館へのエアコン設置について、こどもたちの命を守るという視点と災害時の避難所として市民の命を守るという視点から、まずは小中学校の体育館の空調整備を最優先することとし、来年度の瀬戸市体育館へのエアコン設置は見送ることといたしました。瀬戸市体育館へのエアコン設置の必要性については認識しており、小中学校体育館の整備状況を踏まえながら、引き続き設置に向けた検討をしております。」とのことであった。市体育館へのエアコン設置の必要性については認識しているとのことだが、どのような認識なのか伺う。</p> <p>③ 引き続き設置に向け検討するとのことだが、令和8年度以降の設置の可能性について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 熱中症対策実行計画及び労働安全衛生規則改正の対応について	<p>① 令和5年5月に「熱中症対策実行計画」が閣議決定された。2030年までの目標として熱中症による死者数の半減を目指すとあり、自治体には、庁内体制を整備し、自主的かつ主体的な熱中症対策を推進するよう求めている。現状と今後の取組について伺う。</p> <p>② 今後、熱中症対策を進めるため、本市として具体的な目標設定を行い、計画等を策定し、熱中症対策を進めることが重要と考えるが見解を伺う。</p> <p>③ 2025年6月から、労働安全衛生規則が改正された。同改正では、事業者に対して熱中症対策が義務付けられている。具体的には、熱中症患者の報告体制の整備や、熱中症の悪化を防止する措置の準備を行い、それぞれ作業従事者に対して周知させなければならないとしているが、同改正の認識と市としてどのように取り組んでいくのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。